

WAO! 輪を



【わ・リレーコラム】

第21走者は！・・・泉佐野泉南医師会 副会長

阪南市・里神内科 **里神 永一**先生です。



阪南市、岬町担当副会長を務めさせていただいています。

現在、阪南市において、多職種連携をよりよく進めていけるように、在宅医師の連携に向けて松若理事を中心に行っているところです。しかし地域包括ケアシステムの構築には、今後地域の住民の方々のご協力がますます重要なことになってくるものと考えられます。私も微力ながら以前から行っているように、地区の老人会の会合に顔を出して、介護、医療等に関しての話をし、地域住民の方々の役割の重要性を理解していただくとともに顔の見える関係を築いていきたいと考えています。

地域に密着した人達とかかわりができ、今後の地域包括ケアシステムの構築にむけ、ご協力を頂き、今後更なる地域連携を充実させ包括ケアシステムをよりよいものに成るように頑張りたいと考えています。今後もしよろしくお願いたします。

第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会の実施報告

平成29年3月11日(土) スターゲイトホテル関西エアポートにて「第5回泉佐野泉南医師会 在宅医療研修会」を開催いたしました。今回は、在宅医療を支える後方支援体制をテーマに行いました。第一部として、りんくう総合医療センター松岡哲也副院長から『在宅医療を支える後方支援体制の整備について』ご講演いただきました。現在、圏域内の26病院で構成される病病連携協議会において、在宅医療患者に対する後方支援の体制構築に向けて精力的に取り組んでいるとの事でした。当医師会もこの協議会と密接に連携しながらより良い後方支援体制を目指して参ります。また、第2部では松岡副院長、小笠原副会長の司会で多職種の方々(詳細は写真右参照：敬称略)に登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。病院医師、かかりつけ医師の本音も飛び出し、在宅医療と後方支援をめぐる現状を肌で感じる事ができました。在宅医療研修会も回を重ねる毎に、参加される医師の数も増え、多職種の方々とも交流を深める場となっております。引き続き在宅医療を推進するための研修会を実施してまいりますので、今後とも宜しくお願申し上げます。 参加者総数 179名



「今月のWAO!さん」からのメッセージ

【泉佐野泉南医師会(事務長)】新里 勉さん

平素は、医師会事業にご協力をいただき誠にありがとうございます。

今、医師会を取り巻く環境は、大きく変動しています。特に、医療・介護を主体とした多職種にわたる地域連携が必要となっており、その中で、医師会の役割が重要となってきています。医師会では、地域連携室が中心となり在宅医療推進や多職種連携のための活動を行っていますが、引き続き皆様のご協力を頂きながら、頑張っまいりますので、宜しくお願いたします。